

# なぜ、景観まちづくり

松山駅周辺地区 景観に関する意見交換会

2016年12月17日

郡司島宏美

# 今日のお話

- 景観は町民の意思
- まちの将来ビジョンと景観
- 景観まちづくりの進み方

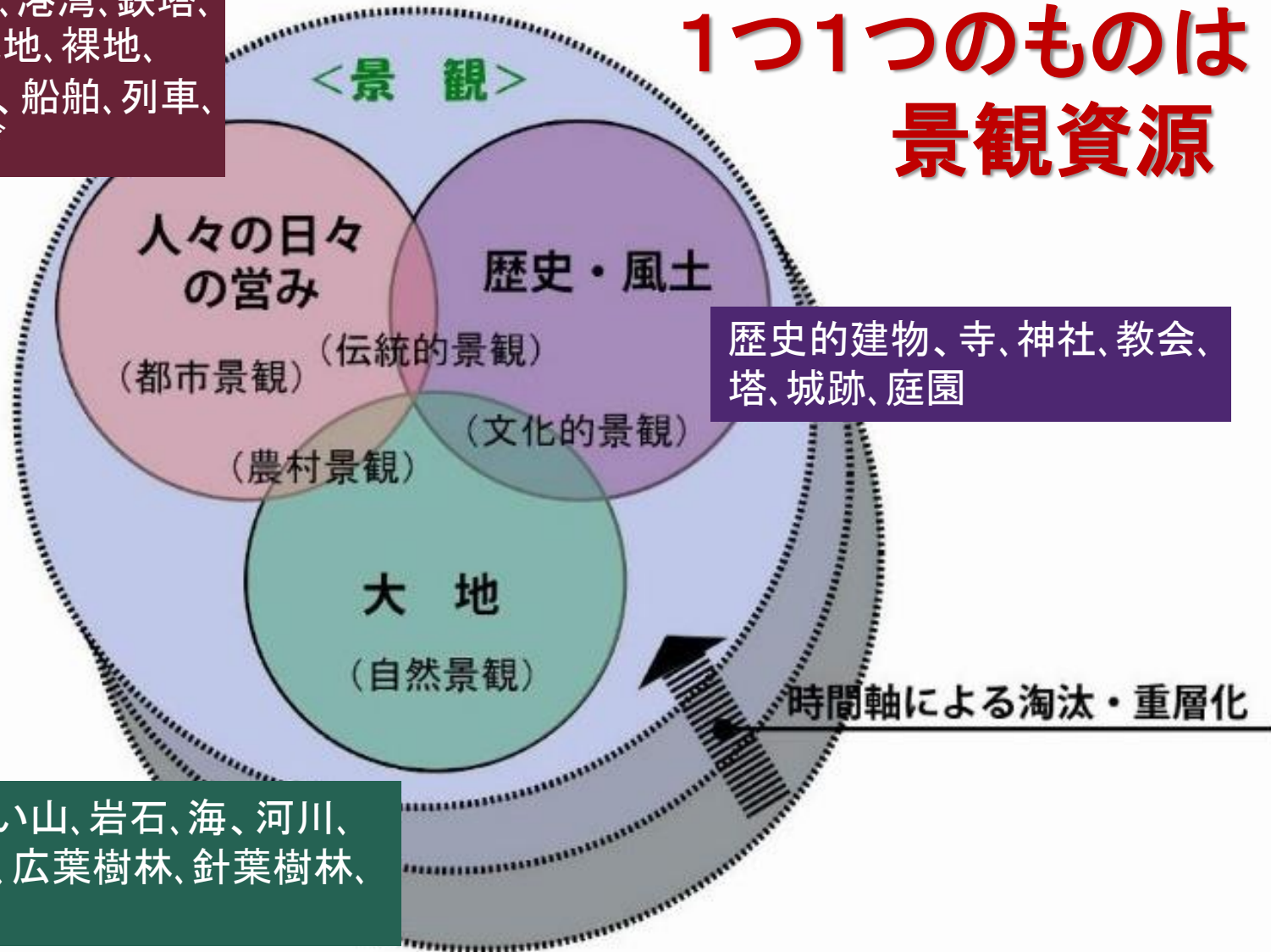
景観＝「景」＋「観」

「観」て、認識する

★景観とは目に見える「景」と同時に、それを支えている生態、人文、経済等の行為・活動と一体のものとして「認識する」もの

# 景観を構成する 1つ1つのものは 景観資源

橋梁、ダム、道路、港湾、鉄塔、  
電柱、電線、造成地、裸地、  
草地、耕地、集落、船舶、列車、  
自動車、看板など



# これから、どんなまちにしたいのか？

- ▶ この町はどんなまち？
- ▶ どんな地理的特徴のある町なのか？
- ▶ どんな歴史のある町なのか？
- ▶ どんな風の人々がこの町で暮らしているのか？

# 眺望景観

・特定の眺望点(展望台など)から特定の景観資源(山や川など)を眺めることをいう

# 囲繞景観(いにようけいかん・いじょうけいかん)

・「囲繞」とは“かこいめぐらすこと”、一定の範囲を有する空間領域中での視覚的な環境状況を囲繞景観という。

山々に囲まれた盆地状の景観、農地の中に農家が散在する景観、歴史的な施設の散在する景観、身近な身の回りの景観

# シーン景観

・固定された視点からの透視図的(写真的、遠近法絵画的、構図的)な眺め

# シークエンス景観

・視点が移動して次々に移り変わるシーン景観を一連の行動として体験する連続的な景観変化。回遊式庭園の「見え隠れの手法」や参道の「神聖さを段階的に高揚させる手法」など。

# 高知駅



# 困繞景観であり シーン景観

# 徳島駅



# 金沢駅・鼓門



景観軸(線)

景観重要資源  
(点)

景観重要資源  
(点)

面として  
まとまった  
景観・風景

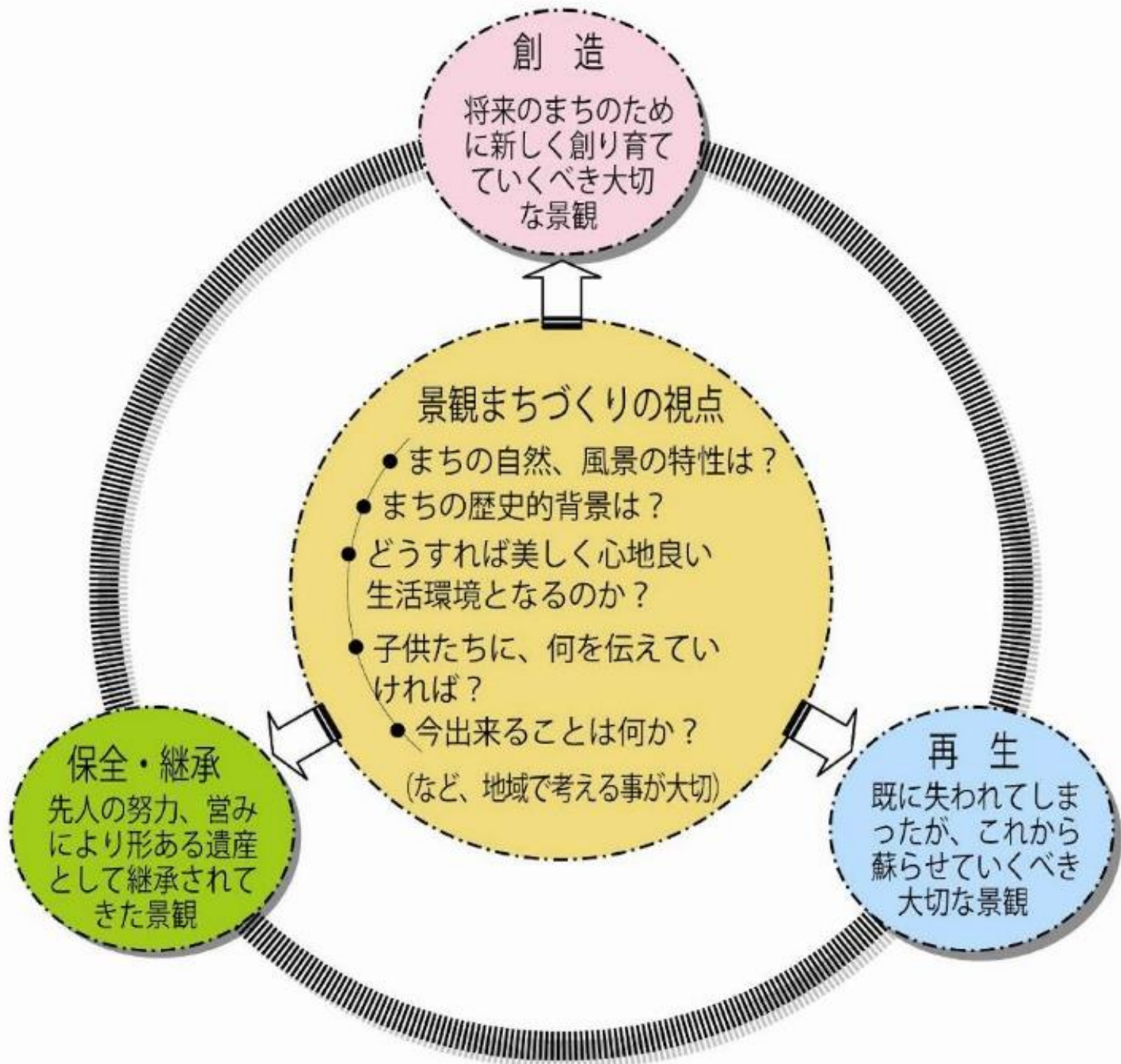
景観軸(線)

景観軸(線)

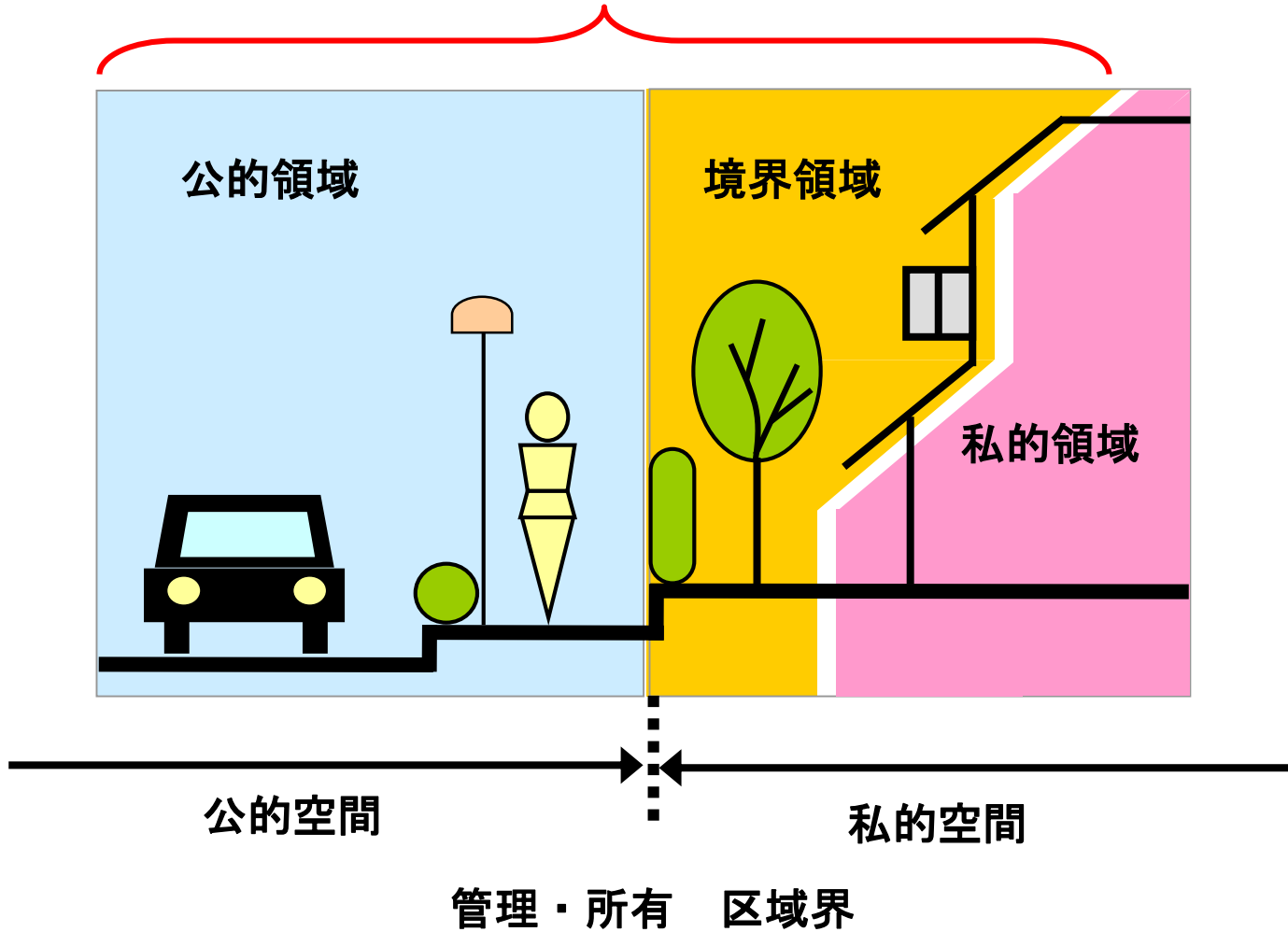
景観重要資源  
(点)



# 景観資源をどうつすれば、 景観まちづくりになる??



景観はみんなのもの



「境界領域」：外壁面、前庭、塀、生垣や植栽等

# 建築物の場合の景観形成基準(例)

## 形態

- ・周辺に圧迫感を与えない形態とするよう配慮する
- ・周辺の景観や町並みや建築デザインとの調和に配慮する

## 意匠

- ・周辺の屋根の形態との調和を図るため、勾配屋根を設ける
- ・屋上設備は目立たない位置に設ける、目隠しなど修景する

## 色彩

- ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩とする
- ・周辺の色調及び規模に十分留意し、対比調和の効果を考慮する

## 位置

- ・修景緑化を図るための空地を確保する
- ・大規模建築物は圧迫感軽減のための景観木の植栽を行う

## 素材

- ・周辺景観に調和し、長期間にわたり良好な景観が維持できる素材を使用する

# いいまちに育てるために できること

- まちのイメージにあわせてまちを育てる
- まちに日常的に手をかける
- 仲間と一緒にいる



落書き消し・お城下クリーンアップ



## 景観まちづくりの三箇条

まずはこの3項目に気をつけてみましょう。

### その一 創意工夫を凝らす

それぞれのアイディアやセンスを活かして、景観まちづくりを楽しむことが大事です。

せっかく景観まちづくりに取り組んでみるのですから、独りよがりにならないよう注意しながら、創意工夫を発揮して、その過程も含めて楽しむ姿勢が大切です。

### その二 こつこつ続ける

景観を磨き上げるにはそれなりの時間がかかります。景観まちづくりも“スロー”です。

日々の努力の積み重ねの上に大輪の花が咲く。これは景観まちづくりにも言えることです。気長にこつこつ続けることが、キラリと光る景観まちづくりのポイントです。

### その三 周りの人と楽しむ

仲間と景観まちづくり。楽しさも、つくられる風景の魅力も、相乗効果で倍増します。

ひとりでも楽しめる景観まちづくりですが、仲間がいればなお楽しい。周りの人たちと一緒にやれば、景観の魅力も相乗効果でどんどん大きくなるのです。